

ライフ全304店舗の生鮮部門に AI需要予測による発注自動化サービス「AI-Order Foresight」を適用 ～一部のプロセスセンターおよびメーカー品の事前発注の作業時間削減を実現～

BIPROGYは、ライフコーポレーション（以下、ライフ）全店舗の生鮮部門発注にAI需要予測による発注自動化サービス「AI-Order Foresight」の適用を決定し、2024年4月までに全店舗で稼働を開始します。

「AI-Order Foresight」は、販売実績・気象情報・特売企画情報などの各種データをもとに、小売店舗における日々の商品発注数をAIで自動算出するサービスです。

ライフでは、日配品に対して「AI-Order Foresight」を2021年2月から導入しています。新たに生鮮部門向けに、プロセスセンター(加工拠点)およびメーカーへの事前発注および発注確定時の数量調整機能を一部商品に適用し、自動算出期間を5日間から3週間に拡大しました。作業負荷・難易度が高い業務の自動化で、従業員の経験やスキルに依存しない店舗運営や販売機会や廃棄ロスの削減を実現します。

BIPROGYは、今後も食品小売業のAIを活用した自動発注の高度化を進め、小売事業者の効率的な店舗運営へのさらなる貢献を目指します。

【導入の背景】

昨今、小売業界では労働力不足が進み、ライフにおいても店舗の省人化や、労働生産性向上への取り組みが必要不可欠になっています。多品目の商品を取り扱う小売店舗の発注業務は、適切な数量を発注できなければ品切れや廃棄ロスを引き起こすため、お客さま満足度や売上・利益に直接影響を与える重要な業務です。

特に生鮮部門は、店舗や納品先の要望・ニーズに応じて流通加工を行うプロセスセンター・メーカーに計画数量を事前発注するため、自動発注適用にあたり5日前までの予測を行う日配品の発注に比べ長期間の発注予測をする必要がありました。

生鮮品へAI自動発注を適用するため、「AI-Order Foresight」はこれまで行ってきた予測より長い3週間先までの商品発注数の自動算出を実現しました。

ライフの実験店舗にて当初計画の発注作業時間削減目標達成と精度の高い発注が実現できることが事前検証で実証されたため、全店生鮮部門への「AI-Order Foresight」適用が決定されました。

【ライフ生鮮部門発注での「AI-Order Foresight」導入効果】

① 発注作業の効率化と精度向上で働き方改革を実現

「AI-Order Foresight」で3週間先まで算出された各商品の発注数量を発注画面に表示し、異常値を確認することで、作業の削減と精度の向上を実現

② 販売機会や廃棄ロスを削減

AIを活用した精度の高い発注が可能になり、商品の欠品が減少することで販売機会・廃棄ロスを削減

③ 難易度が高い業務の自動化で人手不足による課題の解決

作業負荷・難易度が高い業務をAIで自動化することで、経験が少ない従業員でも精度の高い発注が可能になり、新しく採用された従業員の早い戦力化を実現

【今後の取り組み】

BIPROGY は、今後も食品小売業の AI を活用した自動発注の高度化を進め、小売事業者の効率的な店舗運営へのさらなる貢献を目指します。

また、「AI-Order Foresight」を持つデータをサプライチェーン全体に共有し、トラック運転手不足が懸念される「2024 年問題」解決を目指すとともに、小売事業者に留まらないサプライチェーン全体の DX を推進していきます。

■ AI 需要予測による発注自動化サービス「AI-Order Foresight」 サービス概要

「AI-Order Foresight」は、小売店舗の販売実績・気象情報・催事情報などの各種データから、AI を活用し、適切な商品発注数を自動決定するサービスです。作業負荷・難易度の高い発注業務を自動化することで、従業員の業務負担を軽減し、従業員の経験やスキルに依存しない店舗運営・機会ロス・廃棄ロス削減を実現します。処理技術には、BIPROGY が保有する統計解析技術と AI 技術を活用しています。統計解析と AI を組み合わせ、高精度分析を短時間で実施し、従来の自動発注システムでは精度面で実現困難だった日配品・生鮮品などの自動発注化が可能になります。また、従来の需要予測では欠かせなかったデータサイエンティストやアナリティクス組織による予測モデルの改善を、AI 機能が代替実施するため、専門家を有さなくとも予測精度の維持・向上が可能になります。



AI-Order Foresight導入の効果

発注作業の削減

基本的にAIの予測数で発注するため発注業務にかかる時間を削減します。売り場づくりや品出しなどの業務に時間を使うことが可能になります。

在庫数最適化によるロスの削減

AIは欠品・廃棄ロスが最小化する最適な在庫数を判断し、発注数を算出します。よって、欠品・廃棄ロスの削減につながります。

発注業務の標準化

全てのカテゴリが同じ発注作業になることにより、業務が標準化されます。よって、部門にとらわれず発注業務を行うことが可能になります。

以上

■ 展示会出展のご案内

「AI-Order Foresight」は、「スーパーマーケット・トレードショー 2024」および「リテールテック JAPAN 2024」に出展します。

① スーパーマーケット・トレードショー 2024

開催日時：2024年2月14日（水）～16日（金）10:00～17:00(最終日は16:00まで)
会場：幕張メッセ

詳細：<https://www.smts.jp/>

② リテールテック JAPAN 2024

開催日時：2024年3月12日（火）～15日（金）10:00～17:00(最終日は16:30まで)
会場：東京ビッグサイト 東展示棟

詳細：<https://messe.nikkei.co.jp/rt/>

■ 関連リンク：

小売業向け AI 自動発注「AI-Order Foresight」

<https://www.biprogy.com/solution/service/aiorder.html>

※記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<本ニュースリリースに関するお問い合わせ>

https://www.biprogy.com/newsrelease_contact/